



あしや

2025年2月

市議会だより

No.131



ヨドコウ迎賓館
(旧山邑家住宅)

近代建築の巨匠、フランク・ロイド・ライト設計による国指定重要文化財の建築物です。芦屋市山手町の緑に囲まれた小高い丘の上に建ち、1989年からは一般公開されています。2024年に竣工100周年を迎えました。(写真は2階応接室で、南側の出入り口にはバルコニーがあり、芦屋市街はもちろん大阪湾も眺望できます。)

●注目の議案をPick up ●議会報告会・意見交換会

●一般質問 ●行政視察の報告

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。

ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

令和6年
12月定例会
11月29日～
12月20日
(22日間)

12月定例会では全部で15件(市長提出議案…12件、議員提出議案…2件、請願…1件)の議案等が審議されました。今号では、この中から3つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第84号議案)

小学校英語力アップ事業等に係る補正予算

可決
(全員一致)

【内容】

児童が英語に慣れ親しみ、学習意欲を引き出す指導に取り組むため、外国語指導助手(ALT)の配置に係る債務負担行為※(令和7年度から9年度まで)を追加するもの

※債務負担行為とは、将来にわたる債務を負う契約を結ぶため、その内容や限度額を定めること。

委員会での質疑

議員 対象学年は？

教委 小学校1・2年生および5・6年生である。

議員 学校での評価は？

教委 小学校の先生は、外国語担当者会を定期的
に開催し、ALTを活用した授業の交流や、
ALTの派遣を行う事業者等が企画に関わ
り、英語の授業を充実させる研修を行って
いる。教員や教育委員会だけではできない
ことに協力してもらえするため、教員の業務
負担の軽減にも貢献している。

議員

小学校から中学校に進学するに当たり、授
業の内容が大きく変化することも見据え
て、英語力アップ事業を実施しているのか。

教委

段階的に英語に慣れ親しみ、少しずつ基礎
力も付けていきながら、子どもたちを育ん
でいく視点で進めている。

議員

令和6年度から新たに始めている本事業を
債務負担行為として追加し、令和7年度か
らの3年間の事業とした理由は？

教委

事業者と連携し、長期的な視点で教育を進
めていくことが保障されるためである。

議員

事業者の募集に当たっての市の考え方は？

教委

先生がやりたい授業の一つの手段として
ALTの活用があるため、月1回の現場の
先生と教育委員会
の担当者との交流
を通じて、ALTの
活用方法を定め、連
携しながら進めて
いく。



Pick up3

(第85号議案)

あしや市民活動センターの指定管理者の指定

可決
(全員一致)

【内容】

次期の指定管理者を募集して選考した結果、
「特定非営利活動法人あしやNPOセンター」
を候補者として決定したもの。指定期間は
令和7年4月1日から5年間

委員会での質疑

議員 5年間赤字である自主事業に対する市の見解は？

市

課題として認識しており、選定委員会から
も指摘があるため、事業者と共に今後の5
年間については協議を進めたい。

議員

今後5年間の候補者の抱負は？

市

さらなる活動者の増加を目指しているほ
か、相談の分析を基に効果的な講座やイベ
ントを実施し、企画運営やファシリテー
ターなどのスキルを備えた人材育成にも力
を入れないと聞いている。

Pick up2

(第81号議案)

援護資金貸付条例を廃止

可決
(賛成多数)

【内容】

生活困窮者自立支援法に基づく制度の充実に
伴い、課題を抱える世帯への伴走型支援が定
着している現状を踏まえ、芦屋市援護資金貸
付制度を廃止するもの

委員会での質疑

議員 平成24年度から援護資金の貸し付け実績が
ない理由は？

市 平成24年度から3年間で、生活保護の受給
者数が60世帯ほど増えていることに加え、
平成27年度以降、生活困窮者自立支援法の
施行に伴い、困窮者への包括的な支援がで
きるようになったからではないか。

議員 援護資金貸付制度の廃止による影響はない
のか。

市 生活困窮者自立支援制度による伴走型支援
によって、家計改善や就労支援などにつな
げているところであるが、それでもなお、生
活保護でしか生活再建が望めない方につい

ては、社会福祉協議会等と連携しながら取
り組みを進めている。

議員

現在の援護資金貸付制度は社会福祉協議会
における生活福祉資金の内容でカバーでき
ているのか。

市

市の貸付制度よりも生活福祉資金の貸し付
けのほうがメニューや内容、金額面でも充
実している。

議員

市として、貸付制度の利用実績が少なく
らといって、他団体の制度に委ねてしまっ
てもいいのか。

市

社会福祉協議会における各種の貸付制度
が充実している状況の中で、市としての貸
付制度は一定の役割を終えたと判断してい
る。

【市に対する意見・要望など】

● 現行の援護資金貸付制度では、1名の連帯
保証人が必要となっているが、生活に困窮
している方からすると非常に使い勝手の悪
い制度となっていたのではないかと。



あしや市民活動センター (公光町)

【市に対する意見・要望など】

● 施設の使いやすさの観点から、利用時間帯
(午後1時から3時と午後3時から5時)の
間に、わずかな時間でもインターバルを設
けるべきではないか。

議員 今後の5年間、市はどのように向き合っ
ていくのか。

市

行政との協働が広がっており、法人と行政
が共に協働して事業を推進するに当たり、
貴重な存在として認識している。さらに充
実した活動・運営に取り組んでもらいたい。

一般質問

12月9日から11日までの3日間に17人の議員が、計46項目の一般質問を行いました。
内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。

詳しくはこちらから



議会報告会・意見交換会を開催しました

開かれた議会を目指して、議会の仕組みや活動をより知っていただくとともに、市民の皆さまから直接意見を聴くため、昨年の11月14日・15日に議会報告会・意見交換会を開催しました。

14日午前は市役所本庁舎(大会議室)で議会のあらましや取り組みについての報告と新人議員へのインタビューを行いました。同日午後と翌15日には、うちぶん(打出教育文化センター)で総務・建設公営企業・民生文教の常任委員会ごとに意見交換会を実施し、活発な意見交換ができました。頂いたご意見等につきましては、今後の議会活動に活かしてまいります。

ご参加いただいた合計(延べ)26人の市民の皆さまからのご意見や感想等の一部を紹介します。

※詳しい内容は市議会ホームページをご覧ください



議会報告会「議会のあらましと今任期の取り組み」と「新人議員へのインタビュー」

- ・堅苦しくなく、新鮮な内容だった。
- ・議員の人柄の一部を垣間見ることができ、具体的な議員の仕事がどのようなものか想像することができた。
- ・市民感覚とズレを感じたことはあるか、市民から議員になって感じることは何か。
- ・政務活動費について、どう感じているか。



あなたの暮らしに寄り添うデジタル化

【総務常任委員会】

- ・さらにデジタル化が進んだ場合でも、窓口には職員は残ることになるのか。
- ・行政のデジタル化を進める必要はあるが、コストを抑え、市民の利便性を高めてほしい。
- ・職員の負担軽減も念頭に置きながらデジタル化を進めてほしい。



芦屋市の景観について

【建設公営企業常任委員会】

- ・屋外広告物条例について規制緩和の動きはないのか、広告物を撤去した業者と放置している業者間の不公平感があるのではないか。
- ・本市の美しい景観を維持・継承していくにはどうすればよいか。
- ・景観とコストのバランスは難しいが、費用対効果のよい美化を期待する。



ごみ処理について

【民生文教常任委員会】

- ・子どもたちの教育にもっとごみ問題を取り入れ、分別マナーを子どもから大人に広げていくべきではないか。
- ・神戸市との広域連携の前に、プラスチックごみの分別を積極的に実施すべきではないか。
- ・広域連携により、ごみ処理を神戸市に任せきりになるのではないか。災害時の対応などの説明がほしい。



川上 あさえ

あしや政風会

高齢者の見守りについて

議員 高齢者向け緊急通報システムの利用者の推移は？

市 現在の登録者は10年前と比較し、半数以下である40人弱となっており、年々減少傾向にある。

議員 利用条件の緩和は検討できないか。

市 緊急通報システムの利用には協力者の登録や既往症等の条件がある。今後増え続ける高齢者への見守り施策として、より多くの方に利用してもらうためには、条件の緩和も含めて検討する必要があると考えている。



災害時のトイレについて

議員 備蓄している携帯トイレは充足しているのか。

市 本市が備蓄している携帯トイレの数は約3万8000回分である。県が南海トラフ大地震の想定としている避難者約4200人が2日程度使用できる数はあるが、備蓄スペース等の問題から、全てを行政で賄うことは難しいと考えている。

◆その他の質問

・食育、海洋教育について
・犯罪被害者支援について

福井 美奈子

あしや政風会

市民意見を未来につなぐ

議員 市民意見を政策に反映するデジタルプラットフォームの導入について見解を問う。

市 市民の声を市政に反映させることは、政策の質の向上に加え、市民との信頼関係の構築の観点からも重要だと考えている。オンラインによるプラットフォームを導入し、市民意見の活性化に取り組んでいる自治体もあるため、本市における効果的な手法について、先進事例を参考に引き続き研究していく。



災害時のペット避難について

議員 ペット同行避難(同行は避難所まで)について柔軟な対応策が急務である。避難所内では人間と別スペースが必要だが、その確保は十分なのか。

市 各学校園で施設状況に差異があり、全てのペットを受け入れるスペースの確保は難しいため、住居の安全が確認された際は在宅避難をしてもらいたいと考えている。

議員 獣医師会による支援体制は整備されているのか。

市 現在、兵庫県が兵庫県獣医師会等と「災害時における動物救護活動に関する協定」を締結しており、本市も支援を受けられる体制にある。今後は、より実効性の高い支援体制の構築に向けて、関係団体等と協議していく。



寺前 尊文

至誠会

阪神電鉄の立体交差化の可能性は

議員 阪神電鉄、県市の三者勉強会の進捗は？

市 県、鉄道事業者と継続的に意見交換を行っているが、具体的な事業手法の検討や事業費の算定にまで議論が及ぶ状況には至っていない。引き続き、事業手法を含め整備の方向性や事業効果について研究し、一定の方向性を示したい。

議員 地下化施工は沿線の立ち退きが少なく、景観保全、静穏性向上、土地活用により、首都圏で多く採用されている。良好な住環境を誇る本市に最適な工法であり、検討されたい。

市 地下化施工は高架化に比べ費用が高いことと、地下トンネル出入口部の交差道路並びに地域の分断が想定されるという2つの大きな課題があり、選択肢として残すのは困難かと判断している。

議員 高架化も地下化施工も数百億円の事業費を要する。人口減少で交通需要に変化もあり、断念もあり得るのではないかと。

市 今後の本市の都市づくりの中で、どのエリアや事業でやるのが最も実現可能で、必要性に見合いかけた費用を上回る効果が出るのかを整理できれば、非常に有効な事業だと考えている。今後とも精力的に三者で勉強会をしていきたい。



地下化した東急目黒線地上部の緑道
開放的で静かな空間が広がる

◆その他の質問

・学校徴収金の公会計化について

救助活動について

議員 AEDの設置場所の周知に対し、報告義務のないAEDについて市が把握していない状況をどのように考えているのか。

市 民間施設におけるAEDの設置については、ホームページで公表への協力を呼びかけ、把握に努めている。承諾のあった市内の施設はホームページで公表している。



フレイル※予防について

議員 予防事業において、「通いの場」への訪問の目的や背景について問う。

市 法改正により、高齢者の健康寿命の延伸に向けて高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業の一環として実施している。フレイル予防の重要性について高齢者に理解を深めてもらうため、医療専門職が健康講座や健康相談を実施している。※フレイルとは、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい状態のこと。

子どもの教育の場について

議員 伝承遊びが行われる教育の場は、どこで活用されているのか。

教委 小学校の体育の授業で、体づくり運動の一環として鬼ごっこなどをしたり、生活科の授業で、地域の伝統や文化に触れる活動として、こま回しやかたなどを取り入れている。また、小学校高学年や中学校では、百人一首を授業に用いることもあり、さまざまな場面で活用している。

教師の育成について

議員 道徳に基づいた高い精神性を持つ子どもたちを育てなければならぬという強い使命感を、教師自身が感じられるような精神的な取り組みが必要ではないか。

教委 兵庫県教育委員会では、資質向上指標を定めて各研修を実施し、本市教育委員会においてもさまざまな教育課題に応じた研修を実施しており、教員の育成に努めている。

文化的行事の充実に向けて

議員 「ヤマトノオロチ」などの演目がある神楽には、学校では学べない教育的効果がある。文化的行事の一つの試みとして取り入れてはどうか。

市 本市の地域や歴史に深い関わりを持った後世に受け継がれるべき文化がある中、神楽を恒例的な主催の文化的行事に加えることは考えていないが、今後も市民センター事業等を通じて、さまざまな伝統芸能に触れる機会を設ける。

教委 市立小学校では、民話や伝承遊びなど、伝統的なものや行事を大切にした学習を行っていることから、神楽を積極的に取り入れることは考えていないが、鑑賞できる機会があれば紹介していきたい。

◆その他の質問
外国人住民について

がん教育について

議員 小中学校でがん教育が必須となっている。外部講師を活用したがん教育を実施してはどうか。

教委 外部講師の活用は、現在実績はないが、今後、各校の実情に応じて活用する可能性はあると考える。

議員 市立芦屋病院で年に1回開催されているがんを含む健康全般をテーマとした健康フォーラムを会場開催とオンライン開催で併用できないか。

病院 健康フォーラムは、著作権のある講演者の了解を得られた場合には、ウェブ配信など可能な限り多くの市民に見てもらえる方法を実施していく。



健康フォーラムのチラシ

災害時のトイレ対策について

議員 災害時の使用済みの携帯トイレ等、し尿ごみの捨て方について周知・啓発をしてはどうか。

市 使用済みの携帯トイレは、漏れないように吸収剤等に染み込ませてから袋に入れて口を縛ることで、燃やすごみの日に出すことができる。
し尿ごみを含めた災害時のごみの出し方は、発災時に混乱を招かないよう、関係部署が連携の上、平時より啓発していく。

◆その他の質問
認知症施策について

市立小学校校門周辺の安全対策について

議員 市立小学校の校門周辺においては、児童の登校や下校時を除いて、人通りの少ない時間帯に、校内に不審者が勝手に侵入するおそれがある。

そこで、児童、教職員の安全確保の観点から、警備員の配置が望ましいと考えるが、校門周辺における安全対策の現状と今後について問う。

教委 現在、小学校の校門周辺の安全対策は、登校や下校時間帯に地域や保護者の見守りで多くの目があることから、安全であると考えている。児童が登校後は、門を閉めて防犯カメラを活用し、不審者対応に努めている。

警備員の配置については、経費の観点から考えていないが、幼稚園も含めて、全ての学校の校門にカメラ付きインターホンとオートロックシステムを設置する方向で調整を進めている。



◆その他の質問

・阪神電気鉄道(阪神電鉄)の立体交差化(高架化)事業について

いじめ相談について

議員 警察との連携は協定の締結等、外部から分かる形式での対応が必要ではないのか。

教委 警察を含む関係機関、学校関係者、教育委員会が定期的に連絡協議会を開催し、情報共有や協議を図っている。緊急を要する事案が発生した際には、適宜、連携して解決に向けて取り組んでいるため、連携協定の締結までは考えていないが、今後も引き続き、よりよい連携に努めていく。

議員 いじめ相談の窓口は平日の日中が多く学生が利用しづらい。専用アプリの導入はできないか。

教委 児童生徒に貸与しているタブレットには入閣府がつくった孤独・孤立対策アプリが入っており、チャット等で相談できるようにしている。

ふるさと納税の市民活用について

議員 市内における寄付を推進したい。例えば修学旅行等の徴収金を学校への寄付とすることはできないか。

市 制度上、市民の方からふるさと寄附を頂いた場合、返礼品を提供できない。



内部公益通報について

議員 通報者が「誰か」ではなく、まず内容の調査か。

市 制度上、通報者を探索することはない。

議員 調査を行わずに怪文書と決めつけることはないか。

市 通報された事実が「意図的に相手をおとしめるためのものは禁止する」ということに抵触しないかどうかを含めて、真実であるかどうかを丁寧に調査することとなる。

議員 通報者の保護である情報共有の範囲やプライバシーの確保は？

市 情報共有は、内部公益通報の処理に関する規則において必要最小限の人員とし、プライバシーの保護は最大限配慮しなくてはいけないものと考えている。

議員 トップが対象者の場合に適切なフォローがない。外部委員の設置は？

市 外部相談員および内部公益通報処理委員会には外部の弁護士が入っており中立性のある程度担保できていると考えている。

釣り禁止の決め方について

議員 決定の根拠とされた「地元総意」の要望書と協議出席者に偽りが判明したが、その報告はあったのか。

市 10ブロック会からの南護岸での釣り禁止を求める要望書は、正式な議決ではなかった旨の通知が10月に同会から県市に對してあった。県と連携し、住民合意形成の必要性や本件の経緯を周知すべく、準備を進めている。

ごみ処理に関するビジョンについて

議員 鹿児島県大崎町では、「焼却に頼らないごみ処理」に方針転換した結果、燃やすごみの大幅な減少に成功している。神戸市との広域連携を行うならば、現状維持ではなく「焼却施設に頼らないごみ処理」を目指し、分かりやすいビジョンを対外的に示すべきではないか。

市 未来を担う次世代により良い環境を継承することは、現代に生きる者の重大な責務である。この認識の下、神戸市との可燃ごみ広域処理は、コストの削減だけでなく、地球環境への貢献と人口減少などの社会変化に対応する未来のあるべきごみ処理施策へのアプローチとして進めている。

広報あしや11月号にもごみの特集を掲載し、今年度からアプリで分別の促進もやっており、パブリックコメントでは10代の方々からもコメントをもらっている。

現在、政策が点になっている部分はあるので未来を見据えた発信をどのようにしていくのか、どのようなビジョンをつくっていくのかは、しっかり考えて、良いタイミングでやっていきたい。

◆その他の質問

・延長保育利用時の保育料について

市内の中小事業者支援について



【議員】本市は中小事業者が多く、物価高騰の中、生業の継続に努力している。本市は地域経済の活性化を図るため条例を制定し、行政の責務を明確にしている。市としてさらなる給付を含む支援を求める。

【市】商工会と連携し、創業支援やコワーキングスペースでのアドバイザー事業などを行うとともに、県に随伴した商店街等への施設補助や出店補助などを行い、市独自の融資制度を実施している。

また、キャッシュレス決済ポイント還元事業を計4回実施した。

地域社会の担い手として、特に防災・防犯の観点からも、市内で働く商工業者の存在は不可欠であると考えており、条例に基づく基本計画に沿って、引き続き支援に取り組んでいく。

介護保険制度について

【議員】介護は家庭へと移っているが訪問介護報酬は引き下げられている。ケア労働者の処遇改善とともに介護が安心して受けられる制度を求める。

【市】ケア労働者に対しては介護人材の養成支援事業などで、バックアップをしている。

介護サービスの利用については、施設等を利用する際の介護保険負担限度額の認定や、社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の案内を行っている。

◆その他の質問
・行政デジタル化について

公共事業の事業者選定に問題



【議員】街路樹と道路・公園の管理をまとめて民間に任せる包括管理委託は、市内業者活用の要件を満たさず、見積額で5200万円も高い企業JV※が契約候補者とされたが、学識者や市民代表が入った選定委員会ではなく市職員だけの選定になっているなど、不合理・不自然さがあり、選定し直すべきではないか。

※JVとは、複数の企業が特定の案件を受注することを目的として形成する事業組織体のこと。

【市】業者決定の過程は、指定管理者の指定手続とは異なり、本市の提案方式の手続に基づいて行っている。

道路公園施設包括管理業務委託は、専門委員会の審査を経て、最終的に第一種業者選定委員会により決定しており、適正に進めている。

契約候補者の選定に当たっては、提案方式により、書類とともにヒアリングの内容も価格も含めて判断している。

包括管理業務委託については、現在も試行を重ねている状況であり、引き続き改善していく。

◆その他の質問
・車道への矢羽根表示による自転車走行の安全対策について

市役所の窓口対応について



【議員】耳が聞こえにくい市民に対して市役所の窓口ではどのように対応しているのか。

【市】耳が聞こえにくい市民の方が来庁された際は、表情を確認しながらゆっくり分かりやすく話すとともに、個人情報に配慮しながら筆談ボードや助聴器を活用し、対応している。

【議員】個人情報を含む相談を受けることもあるため、窓口で軟骨伝導イヤホンを導入できないか。

【市】軟骨伝導イヤホンの導入は、集音器を活用し、耳の軟骨へ振動を与えることにより音を伝えられるため、音漏れもなく、より個人情報も守られることから、導入に向けて取り組む。

【議員】自動車臨時運行許可(仮ナンバー)について、直近3年間、返納の遅れはなかったのか。あったならば、その件数、返納の遅れの最長期間は？



仮ナンバー

【市】直近3年間で返納の遅れがあった件数は、令和3年度から5年度の順に、それぞれ25件、34件、37件で、返納の遅れの最長期間は約8カ月である。

◆その他の質問
・マンション管理の適正化に係る今後の取組について ほか

議員研修会を開催しました

昨年の11月12日に神戸市西区にある神戸市資源リサイクルセンターを視察しました。

リサイクルセンターでは、缶・びん・ペットボトルを再資源化するために複数の工程を経て異物を除去していくこと、また選別には磁力や風力等のさまざまな技術を用いていることなどを現場の機械等を間近で見学しながら、説明を受けました。

神戸市における大量の缶・びん・ペットボトルを迅速かつ適切に処理する効率的な工程や分別を徹底し、それぞれの特性に合わせた処理が行われていることが印象的で、資源循環型社会を実現するためのリサイクルの重要性を改めて実感しました。



「資格確認書」で今までと同様の医療受診を



【議員】マイナ保険証がなくとも、既存の保険証はまだ使え、その後は自動的に資格確認書が届き、医療が受けられることを市民にどう周知していくのか。

【市】本年7月と12月の広報あしやおよび保険証の送付時に、現行の保険証は有効期限まで使用できることをお知らせした。併せて、マイナ保険証に未登録の方には、有効期限内に資格確認書が届くこと、マイナ保険証に登録済みの方には、令和7年7月中旬に資格情報のお知らせが届くことを案内している。

ホームページでも内容に工夫を凝らして情報を掲載しており、より広く市民の目に留まるよう、丁寧な周知に努めていく。

ごみ焼却施設広域化の情報提供を

【議員】神戸市との広域化によって40%の支出抑制ができるというが、根拠となる式などを市民に情報提供すべきではないか。

【市】単独処理と比較すると40%程度抑制できると見込んでいるが、近年の建設物価等の上昇の社会情勢を考慮すると、明確な額は実際には未定であり神戸市への委託料も今後の重要な協議事項であることから、現段階で一方向的に示せるものではない。そのため、本市独自の見込みから金額の変動の影響を受けにくい割合という形で表示すべきと判断した。今後更に分かりやすい説明となるよう努めていきたい。

マイナ保険証への移行について



【議員】移行対応が難しい市民へのサポートをどのように考えているのか。

【市】任意が前提であるが、メリットや手続のことを丁寧にし、個々の状況に応じた対応を工夫していく。

【議員】市内の医療機関にも協力してもらうような働きかけは可能か。

【市】市内にはマイナ保険証対応端末が未設置の医療機関が21施設あるが、義務ではなく、どのような声かけができるのかという難しさがあるため試行錯誤している。

小学校1年生のプレクラス制度について

【議員】東京都港区で採用され、クラス環境の安定に有効だが検討の余地は？

【教委】小学校への緩やかな接続の観点からも、プレクラスで1か月間程度、学級担任を固定せず複数の教員で児童一人一人の実態を直接把握できることは、良いと考えている。東京都港区や、他の自治体の様子を注視しながら、情報収集に努めていく。

外国からの転入者との共生について

【議員】近隣との協調を目的としたコミュニティの創生を求める。

【市】外国人の転入時には、コミュニティづくりにつなげるためにメールアドレスの登録を呼びかけ、イベント等をお知らせしてさまざまな催しへの参加を促している。外国人市民を地域の一員として受け入れ、人の交流やつながり、助け合えるまちなの実現を目指すため、併せて多文化共生の推進にも取り組んでいく。

精道小学校ひまわり学級の視察を行いました



精道小学校内にあるひまわり学級(はやて)

昨年の11月26日に民生文教常任委員会の委員等が参加し、放課後児童クラブの学級のうち、精道小学校内に新たに建てられたプレハブの建物の視察を行いました。

8月28日から、建物の1階部分をひまわり学級(はやて)が使用していますが、現在も定員を超える児童が登録し、運営されている状況です。(※登録状況を踏まえ、利用定員を超えて児童を受け入れることはできません。)現地視察においては、この建物のほか、その南にあるプレハブ内の学級の状況も確認しました。

現在は3学級(ひかり・つばさ・はやて)での運営となっていますが、児童の利用状況については、引き続き注視していきます。

令和6年12月定例会の審議結果

議案の詳細はこちらから

請願などの詳細はこちらから

◆全議員が賛成した議案

条例	[一部改正] 特定教育・保育施設等の運営等に関する基準を定める条例 など4件
予算	[令和6年度補正予算] 一般会計（第6号） など3件
一般案件	あしや市民活動センターの指定管理者の指定 など2件

◆賛否が分かれた議案等

会派名		あしや政風会			日本共産党 芦屋市議会 議員団		公明党			日本 維新の会		至誠会		会派に 属さない 議員			議決結果								
件名		岩 岡 り ょ う す け	福 井 利 道	川 上 あ さ え	原 な つ 子	福 井 美 奈 子	川 島 あ ゆ み	ひ ろ せ く 美 子	平 野 貞 雄	西 村 ま さ と	田 原 俊 彦	帰 山 和 也	浅 海 洋 一 郎	橋 本 隆 貴	大 原 裕 薫	西 崎 健 一	中 島 尊 文	寺 前 み さ え	山 口 基 弘	長 谷 村 亮 介	た か お か 知 子	賛 成	反 対	棄 権	
条例	援護資金貸付条例の廃止 (第 81号議案)	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	16	3	0
	住みよいまちづくり条例の一部 改正 (第 82号議案)	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	15	4	0
	市議会議員の議員報酬及び費用 弁償等に関する条例の一部改正 (第 88号議案)	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	—	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	9	10	0
議員提出議案	たかおか知子議員に対する問責 決議 (議員提出議案第 8号)	○	○	○	○	○	棄	棄	棄	○	○	—	○	○	○	○	○	○	棄	欠	○	除	14	0	4
	選択的夫婦別姓制度の速やかな 導入を求める意見書 (議員提出議案第 9号)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	○	×	○	×	×	×	○	欠	○	○	10	9	0
請願	「選択的夫婦別姓制度の速やかな 導入を求める意見書」採択に 関する請願 (請願第 10号)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	—	○	×	○	×	×	棄	○	欠	○	○	10	8	1
																						採択			

※[○]…賛成、[×]…反対、[欠]…欠席、[棄]…棄権、[除]…除斥、[—]…議長 (議長は表決に参加しません。)

可決した決議・意見書

令和6年12月定例会で可決した決議・意見書を紹介します。また、同定例会で可決した意見書につきましては、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

たかおか知子議員に対する問責決議

(議員提出議案第8号)

全員一致

(棄権を除く)

【内容】
たかおか議員による「兵庫県知事選挙の投票日におけるSNSへの投稿」ならびに「芦屋市長の写真の無断使用および加工・編集したコメントの投稿」は「芦屋市議会議員及び市長等の倫理に関する条例」に違反し、議会全体の品位を損ね、市民の信頼を著しく失墜させる行為であるため、たかおか議員に対し、議員としての責務を深く認識し、議員としての高い倫理観を求めるとともに、猛省すべきことを勧告するもの

選択的夫婦別姓制度の速やかな導入を求める意見書

(議員提出議案第9号)

賛成多数

【提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、内閣府特命担当大臣 (男女共同参画担当)、内閣官房長官

【内容】
国に対し、夫婦同姓を義務付ける民法第750条は、憲法や女性差別撤廃条約・自由権規約に反するものであるため、速やかに改正し、選択的夫婦別姓制度を導入するよう強く要請するもの

決議・意見書の詳しい内容については、市議会ホームページ「議員提出議案の審議結果(令和5～8年度)」(右記QRコード参照)をご覧ください。



行政視察を行いました

芦屋市議会では、市政における課題の解決を図り、その発展のため、他市の先進事例を調査する行政視察を実施しています。詳しくは市議会ホームページの「視察報告」(右記QRコード参照)をご覧ください。

総務常任委員会

千葉県千葉市・東京都立川市

10月21日～22日

千葉市では「行政デジタル化推進について」視察を行いました。行政デジタル化推進指針を策定し、多様な行政ニーズに応える「あなたに寄り添うデジタル化」を目指して取り組まれています。各種手当の受給や健康診査などのタイミングで、市民自らが問い合わせずに済むよう、市が保有する住民情報を活用し、登録されたLINEアカウントやメールアドレスに対して案内していることは、受給漏れの防止を図る観点から、参考になりました。

立川市では、「自治会支援について」視察を行いました。役員の高齢化、現役世代の自治会への関心の低下などが顕著にみられ、自治会への支援強化のため、平成31年に条例が制定されています。本市もマンションが多く建設されていることから、不動産会社などと連携し、マンション管理組合の規約に自治会加入に関する事項を入れることができれば加入率も上がるのではとの意見がありました。また、条例制定後に補助金を新たに設け、加入が進んだとの報告もあり、より活発に活動していくには補助金という支援も必要であると感じました。



立川市

民生文教常任委員会

福岡県みやま市・山口県山口市

10月21日～22日

みやま市では、バイオマスセンター「ルフラン」の視察を行いました。みやま市は、令和2年9月議会で、ゼロ・ウェイスト宣言(資源循環のまち宣言)が採択されており、市を挙げて、生ごみの資源化や可燃ごみの削減を進めることで、ごみ処理費用の削減を目指すという目標に向かって取り組んでいる姿が印象的でした。特に、生ごみの資源化では、「分別を強制するのではなく、分別を進めなければならない文化や空気感の醸成に努めている。」といった話があり、市民にとっても無理なく分別を進めてもらえるすばらしい取り組みであると感じました。



みやま市バイオマスセンター「ルフラン」

山口市では、「介護予防及び認知症関連施策について」視察を行いました。ほっと安心SOSネットワーク事業(認知症等の方が行方不明になった際に、地域の方の協力を得ていち早く発見するための取り組み)については、QRコード付きのラベルシールを配付していることが特徴的であり、また、認知症サポーター養成講座については、身近に認知症の人がいないであろう小・中学校の児童・生徒に受講してもらうことは、教育という観点でも大変意義があると感じました。

建設公営企業常任委員会

石川県金沢市・新潟県糸魚川市

11月7日～8日

金沢市では、「デマンド交通について」視察を行いました。地元の自治会や商店街が運行主体となり、地元の負担軽減に向け協賛金を集めることが利用促進に向けた機運醸成につながったものと考えられます。今後、バスのさらなる減便や高齢化により、交通不便を訴える市民の声が高まることが予測される中で、住民を巻き込みながら利用者減によるサービス低下の軽減を図る金沢市の手法は思い切った施策であり、バス減便や路線維持が困難である現状を市民に理解してもらうためにも意義深いと感じました。

糸魚川市では、「防災の取組について」視察を行いました。平成28年に大規模火災が発生し、焼損棟数は147棟に及んだものの死者は発生していません。その要因は、地域コミュニティの強い絆によって、町内会単位で声を掛け合い避難が行われたことです。顔の見える関係を築き、伝承で災害の歴史を語り継ぐ地域防災の在り方には普遍性を感じ、参考になりました。また、被災地に設置された「駅北広場キターレ」では、にぎわい創出として、まちづくりカフェなどが多く企画されており、改めて多世代交流の意義について知見を得ることができました。



糸魚川市駅北広場キターレ

議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第49回

◆問題

【出題者】西崎薫委員

令和6年11月14日・15日に、議会報告会と意見交換会を開催しました。2日間の参加人数の合計は延べ何人だったでしょうか?

①16人 ②26人 ③36人

◆前回のクイズの答え

※前回の応募件数は69件

「芦屋市議会では、より多くの市民に開かれた議会を目指すため、インターネットで本会議および委員会の中継映像を配信しています。配信の視聴ができるのは次のうちどれでしょう?」の正解は「①市ホームページ内の市議会トップページから」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。正解は5月発行予定のあしや市議会だより132号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長・副議長による抽選会

◆応募方法

「専用フォーム」、「電子メール」、「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第49回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善の参考にさせていただきます。

◆応募締め切り

令和7年(2025年) 2月25日(火)まで

※当日消印有効

◆応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス: gjityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報(賞品の発送以外)には使用しません。

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



QRコード
(専用フォーム)

市議会ホームページで なにができる?



芦屋市議会

市議会だよりの电子版を読む

市議会だよりのPDF版を掲載しています。また、スマートフォンアプリ「マチイロ」も利用可能です。(アプリの利用方法も併せて市議会ホームページに掲載しています。)

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね3日後から1年間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会等の会議録を調べたり、見たりできます。

政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

3月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
2/10	11	12	13	14	15	16
				議会運営委員会		
17	18	19	20	21	22	23
本会議 (施政方針説明)	建設公営企業 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会	委員会 (予備日)		
24	25	26	27	28	3/1	2
				議会運営委員会		
3	4	5	6	7	8	9
本会議 (総括質問等)	本会議(総括質問等)・ 予算特別委員会	建設公営企業常任 委員会・予算分科会	民生文教常任 委員会・予算分科会	総務常任委員会・ 予算分科会		
10	11	12	13	14	15	16
委員会・予算分科 会(予備日)	委員会・予算分科 会(予備日)	委員会・予算分科 会(予備日)				
17	18	19	20	21	22	23
	予算特別 委員会			議会運営 委員会		
24	25	26	27	28	29	30
本会議(採決)						

●本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

今年で震災30年という節目を迎え、私たちはその歴史を振り返り、次世代にどのように伝えていくかを考える時がきているのではないのでしょうか。芦屋市でも各地域で防災の取り組みが活発に行われています。今後も個々で防災に対する意識を高め、自助・共助・公助でいざという時に備えましょう。

【編集委員】 原 なつ子